社会（地理的分野）

Ⅰ　教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領（平成29年3月）に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1　教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。
	(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2　学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。
教科独自観点	(4)	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されているか。
	(5)	既習事項を基に、生徒自身が設定した学習課題によって学びを深めることができるよう工夫されているか。
	(6)	我が国の国土に対する愛情や、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする態度を養うことができるよう工夫されているか。
3　学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

Ⅱ　選定資料利用上の留意点

1　資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。

2　利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。

3　前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ　具体項目

社会（地理）

観点＼発行者		東　書	教　出
1	教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。	「日本の諸地域」に中学生の話を入れたり、それらの学習を踏まえた「持続可能な地域の在り方」を設定したりすることで、身近な地域の特色や課題に目を向け、社会参画の意欲を高めることができるよう配慮されている。	「日本の諸地域」に、特設ページ「持続可能な社会に向けて」を配置し、様々な視点から社会の動向や課題を考えさせることで、社会参画への意識を高めることができるよう配慮されている。
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。	日本の都道府県と県庁所在地のページで、港を中心として発展した長崎市の写真が紹介されている。	「地図を活用しよう」では、佐世保の九十九島や、長崎・天草地方の潜伏キリシタン関連遺産、島原半島のジオパーク、「自然災害に向き合う」学習では、雲仙岳の噴火について紹介されている。
2	学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長		
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。	「スキル・アップ」では、「集める」「読み取る」「まとめる」の側面から、図、グラフの読み取り方や統計資料の使い方などを示すことで、地理の学習に必要な調べまとめる技能を習得することができるよう工夫されている。	冒頭の「地理にアプローチ」で小学校で学習した地図やグラフの読み取り方を確認させるとともに、「地理の技」「地域調査の手引き」を設定することで、調べまとめる技能を習得することができるよう工夫されている。
(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。	まとめのページでは、思考ツールを用いて考えを整理しながら探究課題の解決に取り組ませることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	「表現！」や「THINK!」では、表や地図などの資料を参考に、考えを述べる場面を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。
(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。	まとめのページに「探究のステップでふり返ろう」を設け、学習の注目点を意識しながら資料を探すよう促すことで、主体的に振り返りや発展学習に取り組むことができるよう工夫されている。	「学習のまとめと表現」のページでは、「学習したことを活用してまとめよう」を設け、自ら考えを整理する活動を促すことで、主体的に学びに向かうことができるよう工夫されている。
(4)	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されているか	「地理を学ぶ５つのミカタ」で、一枚の写真から、「位置や分布」「場所」「地域」「結び付き」「人と自然のかかわり」の視点を示すことで、見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。 「まとめの活動」の探究課題に答える活動では、「地理のミカタ」のアイコンやキャラクターの吹き出しを示すことで、地理的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。	巻頭や各章の冒頭において、「位置や広がり（分布）」「場所」「地域」「結びつき」「自然環境との関わり」の視点を示すことで、見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。 各章の導入「とびらページ」に、章を見通した学習課題や地理的な見方・考え方を示すことで、学習を進めていく上で必要な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。
(5)	既習事項を基に、生徒自身が設定した学習課題によって学びを深めることができるよう工夫されているか。	各章の学習のまとめにおける「みんなでチャレンジ」では、既習事項に関連した課題について、お互いの意見を交換する場を設けることで、深い学びにつながるよう工夫されている。 各章末に「探究課題を解決しよう」を設け、キャラクターの会話を基に、節の探究課題に対する答えを考え、自分の言葉で表現する活動を設定することで、より深い学びにつながるよう工夫されている。	各章の「学習のまとめと表現」にある「学習したことを活用してまとめよう」では、既習事項を基にして、地域の特色について自分の言葉でまとめることで、深い学びにつながるよう工夫されている。 「クロスロード」では、世界や日本の事例を基に、教科書での学習をより多面的・多角的に考察できる話題を取り上げることで、異なる視点から学習を深められるよう工夫されている。
(6)	我が国の国土に対する愛情や、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする態度を養うことができるよう工夫されているか。	各地の伝統産業や伝統文化、歴史的町並みなどを本文やコラムなどで豊富に取り上げ、現代の生活に対応した革新の努力にも触れることで、国土や郷土への理解や愛情を深められるよう工夫されている。 「世界の諸地域」において、まとめの活動に「地球的課題をふり返ろう」を提示することで、各地域が抱える課題やそれに対する取組を読み取り、国際社会への理解を深めることができるよう工夫されている。	伝統産業や伝統文化の継承に携わる人々の写真を豊富に掲載することで、我が国の国土に対する愛情や伝統文化を尊重しようとする態度を養うことができるよう工夫されている。 「世界の諸地域」の学習のはじめに、各州の課題と持続可能な開発目標とのかかわりについて提示することで、国際貢献の大切さや国際社会への理解を深めることができるよう工夫されている。
3	学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。	文章量は多過ぎず、分かりやすい文章で記述したり、学習するページに用語の解説を記載したりすることで、学習内容を理解しやすいよう配慮されている。	重要語句が大きくて見やすく、分かりやすいように丁寧な文章表現で記述したり、語句の解説を巻末に設けたりすることで、学習内容を理解しやすいよう配慮されている。
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	「世界の諸地域」「日本の諸地域」の冒頭に、各地域の様子を表す写真や資料を示すことで、学習意欲や関心を高め、地域を大観することができるよう配慮されている。	「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、冒頭の2ページに諸地域の地図と関連付けた写真や資料を示すことで、興味や関心を高めることができるよう配慮されている。
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。	行間を空けることで文章を読みやすくしたり、資料や写真の色合いを濃くしすぎないようにしたりすることで、ページ全体を見やすくし、学習内容に集中できるよう配慮されている。	グラフや分布図はカラーで見やすく示したり、文章と資料を見やすくするため、大きさやレイアウトを工夫したりすることで、学びやすいよう配慮されている。

観点＼発行者		帝　国	日　文
1	教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。	「日本の諸地域」の冒頭では、地方の課題と克服への努力に目を向けさせる視点を示すことで、よりよい地域社会づくりのための手法を模索し、社会参画への主体性を養うことができるよう配慮されている。	「日本の諸地域」のまとめに「議論してみよう」を設け、環境保全と観光業の両立を例として、身近な地域の振興について議論することで、持続可能な社会参画への意欲を高めることができるよう配慮されている。
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。	「九州地方」では、出島や長崎くんち、五島列島の教会群、代表的な産物としてじゃがいもがイラストや写真で紹介されており、「中国・四国地方」には、西九州新幹線の車両運搬の写真が紹介されている。	「九州地方」では、学習の冒頭ページで、2022年に武雄温泉駅と長崎駅間で開通した西九州新幹線の写真が紹介されている。
2	学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長		
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。	「技能をみがく」では、写真の読み取り方や地図やグラフ、統計資料の読み取り方、地域調査で役立つ地形図の使い方などを示すことで、地理の学習に必要な調べまとめる技能を習得することができるよう工夫されている。	「スキルＵＰ」では、地図、統計資料、写真の活用の仕方などを解説したり、問いによって活動を促したりすることで、調べまとめる技能を習得することができるよう工夫されている。
(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。	「説明しよう」では、学習課題に関する内容を説明する場面を設定することで、学習で得た知識・技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	「表現」や「自分の考えをまとめよう」では、資料を読み取ってまとめたり、学習内容を基に表現したりするための課題を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。
(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。	「世界の諸地域」と「日本の諸地域」の節ごとにある「振り返り」や「アクティブ地理」では、疑問や探究したいことを考えて書く機会を提示することで、主体的に学びに向かうことができるよう工夫されている。	「世界の諸地域」や「日本の諸地域」の節ごとに「学習をふり返ろう」を設け、考えの変化や今後の学習や生活に活用していきたいことを書かせることで、主体的に学びに向かうことができるよう工夫されている。
(4)	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されているか	巻頭で、「位置や分布」「場所」「他地域との結びつき」「人間と自然との関わり」などの視点を示すことで、様々な事例や資料に基づいて、見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。 「学習を振り返ろう」では、単元の振り返りに「見方・考え方」アイコンを示すことで、課題解決に向けた見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。	巻頭のイラストを基に「位置や分布」「場所」「人と自然とのかかわり」「地域どうしのつながり」「地域」の様々な視点を示すことで、見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。 本文ページの見開きにおいて、学習課題解決の手がかりとなる地理的な見方・考え方を示すことで、見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。
(5)	既習事項を基に、生徒自身が設定した学習課題によって学びを深めることができるよう工夫されているか。	「学習を振り返ろう」では、節の問いに対する自分の考えを、図や表、地図などを用いたり、他者と相談したりしながらまとめ活動を設定することで、深い学びにつながるよう工夫されている。 「アクティブ地理」では、地域に見られる課題について取り上げることで、自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりしながら学びが深められるよう工夫されている。	各章末にある「まとめとふり返り」においては、知識の確認、「問い」に答える活動、学習のふり返り、議論の４つで構成することで、深い学びにつながるよう工夫されている。 自然災害、防災・減災についての学習を踏まえ、地域づくりの構想をしたり、災害時の避難経路を考えたりする活動を設定することで、実践的な学習を通して学びが深められるよう工夫されている。
(6)	我が国の国土に対する愛情や、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする態度を養うことができるよう工夫されているか。	巻頭で、持続可能な開発目標とその実現に向けた世界と日本の取組を紹介し、地域の課題と地球規模の問題との関連について示すことで、我が国や国際社会への理解を深めることができるよう工夫されている。 「未来に向けて」では、持続可能な社会の実現に向けた取組を「環境」、「防災」など６つの視点で示すことで、我が国や国際社会への理解を深め、多様な生活文化を尊重する態度を養うことができるよう工夫されている。	巻頭で、持続可能な開発目標とその実現に向けた世界と日本の取組を紹介し、持続可能な社会と生徒自身とのかかわりを考えさせることで、我が国や国際社会への理解を深めることができるよう工夫されている。 「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、地域の特色や課題をSDGsと関連させた「持続可能な地域をめざして」を示すことで、多様な生活文化を尊重しようとする態度を養うことができるよう工夫されている。
3	学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。	重要語句を大きく見やすくしたり、学習するページに用語の解説や、「未来に向けて」の資料を示したりすることで、学習内容を理解しやすいよう配慮されている。	各章の冒頭で学習の見通しなどを示し、学習の仕方を学ばせたり、巻末の統計資料や用語解説を用いたりすることで、学習内容を理解しやすいよう配慮されている。
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	「世界の諸地域」「日本の諸地域」の冒頭に、各地域の特色を写真やイラスト地図で示すことで、興味や関心を高めることができるよう配慮されている。	「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、冒頭で各地域の特色を写真で示したり、学習内容に関連したグラフや統計資料を掲載したりすることで、より深く学習内容を理解できるよう配慮されている。
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。	写真や資料は濃いめのカラーで鮮やかにしたり、グラフや統計資料は、グレーの囲みや枠線を描いたりすることで、見やすく学習内容に集中できるよう配慮されている。	グラフは、学習する地域の国や都道府県だけに色を付け、他者との比較をしやすくしたり、写真や資料の色合いを濃くしないようにしたりすることで、見やすくなるよう配慮されている。